



2019年2月28日

本リリースは、2019年2月28日に発表されたものの日本語抄訳版です。

2018年12月31日期末暫定決算報告書

すべてのカテゴリーで好業績を達成

	2018		変化率	
	実勢為替レート	同一為替レート	実勢為替レート	同一為替レート
売上	244.92億ポンド		+25.2%	
営業利益	93.13億ポンド		+45.2%	
一株当たり利益 (EPS)	264.0ペンス		▲85.6%	
希薄化EPS	263.2ペンス		▲85.6%	
営業活動による正味キャッシュ・フロー	102.95億ポンド		+92.5%	
借入金	475.09億ポンド		▲3.9%	
一株当たり配当	203.0ペンス		+4.0%	
非GAAPベース：				
同一条件下ベースの調整後売上*	243.12億ポンド	257.60億ポンド	▲2.3%	+3.5%
同一条件下ベースの調整後営業利益*	103.47億ポンド	109.24億ポンド	▲1.5%	+4.0%
調整後希薄化EPS	296.7ペンス	315.5ペンス	+5.2%	+11.8%
調整後営業活動によるキャッシュ・フロー	80.71億ポンド	84.76億ポンド	+146%	+158%
正味負債	434.07億ポンド		▲2.7%	

調整後利益および同一為替レート等の非GAAPベースは、英語版暫定決算報告書の45頁および46頁に比較可能なIFRS（国際会計基準）の定義を提示してありますのでご参照下さい。

*代表ベースについては、英語版暫定決算報告書の3頁にある計算方法の説明をご参照下さい。上記表にある差違は、IFRS15適用による影響を考慮して調整後の2017年12月31日期の情報と比較したものです。

最高経営責任者 ニカンドロ・デュランテのコメント：

「ブリティッシュ・アメリカン・タバコ（以下「グループ」または「当社」）は2018年度も好業績を達成し、長期的に持続可能なリターンを維持するための投資を継続する中、調整後EPS成長率は同一為替レートで1桁台後半という目標を突破しました。レイノルズ・アメリカン（以下「RAI」）が通期で組み入れられたことに加えて、為替換算上のマイナス影響が売上および営業利益に対して約6%、EPSに対して7%及んだことから、グループの業績にひずみが生じました。同一条件下ベースでは、同一為替レートでの調整後の業績は以下の通り全般に好調な内容となりました。

- 同一為替レートでの調整後希薄化EPSは11.8%増
- 同一為替レートでは、プライスマイクスが+7%となったことが貢献して調整後売上は3.5%増、調整後営業利益は4.0%増となり、「リスクを低減する可能性のある製品」（以下「PRRP」）に対する大規模な投資を実施する中、調整後オペレーティングマージンは0.4ポイント改善
- 燃焼たばこ製品は業界全体を凌ぎ、市場シェア¹は0.4ポイント拡大。戦略的な紙巻きたばこ



ブランドの販売数量は4.8%増加

- 加熱式たばこ（以下「THP」）とベイパー製品が大幅に伸び、米国でのベイパー製品の20%の増加と日本を中心とする「glo（グロー）」の増加が貢献して調整後売上は95%増の9億100万ポンドを記録。有望な新製品を開発中であるため、グループは引き続き新カテゴリー製品の力強い伸びを見込んでおり、新カテゴリー製品の売上は2023/2024年までに50億ポンドに達する見通し
- 全ての地域で業績が改善しており、特に米国では燃焼たばこ製品の価格設定と金額ベースでのシェアの0.25ポイント拡大を背景に売上が2.5%増加（2017年における「ナチュラル・アメリカン・スピリット」の国際ブランド・ライセンス売却に関連した9,400万ポンドの売上を除く）
- キャッシュ・コンバージョン比率（営業活動による正味キャッシュ・フローの営業利益に対する割合）は113%となり、為替変動による影響を除いた負債比率は0.4倍に低下した結果、一株当たり配当は4%増加。実勢為替レートでは、調整後純負債の調整後EBITDAに対する比率は4.0倍

米国で提案されている規制の見直しの影響で、投資家の間に不透明感が生じています。当社は、長きにわたり規制の変化に対応してきた経験を有する上、将来のための投資を実施しつつ力強い成長を達成してきた実績を誇る一方で、マルチカテゴリー・アプローチを確立しています。私の後継者として最高経営責任者に就任するジャック・ボールズの指揮の下、当社は「Transforming Tobacco（たばこの変革）」戦略を加速させ、これまでと同水準の持続的な長期リターンを維持していくことができるものと確信しています。2019年も引き続き同一為替レートで1桁台後半の調整後EPS成長率を達成できる見通しであり、こうした自信は、取締役会が4%の増配を提案したことに反映されています。」

2018年通期のハイライト

- 2017年度の業績に影響を与えた買収に関連した会計上の影響を含め、RAI買収による通期寄与がグループの業績に貢献しました。財務報告ベースでは、以下の通りです。
 - 戦略的ポートフォリオの49%の増収を受け、売上は25%増加
 - 紙巻きたばこおよびTHPの販売数量は3.3%増加
 - 営業利益は45%の増益
 - オペレーティングマージンは38.0%へと5ポイント強拡大
 - キャッシュ・コンバージョン比率は111%
- 同一条件下ベース（RAIおよびその他の2017年度に買収した企業をグループが2017年1月時点で既に所有していたとみなして連結化、英語版暫定決算報告書の3頁をご参照）では、以下の通りです。
 - 紙巻きたばこおよびTHPの販売数量は3.5%減の7,080億本。グループの主要市場²における販売数量は2.7%減となり、3.4%*減少したと推定される業界全体を凌いだ結果、市場シェ

アは0.4ポイント拡大

- THPの70億本への217%の増加とナチュラル・アメリカン・スピリット、ロスマンズ、ポール・モールの伸びに牽引され、戦略的な紙巻きタバコおよびTHP製品の販売数量は5.8%増加
- 同一為替レートにおける調整後売上は、安定したプライスマイクス（6%の増収）と、THPおよび加熱式タバコの同一為替レートでの売上の9億100万ポンドへの95%増収を背景に、**3.5%増加**
- 戦略的ポートフォリオ（英語版暫定決算報告書の3頁をご参照）の調整後売上は以下の要因に牽引されて同一為替レートで**8.5%増加**
 - 戦略的燃焼タバコブランドの5.70%の増収
 - 次世代タバコ製品（以下「NGP」）の同一為替レートでの調整後売上が9億100万ポンドにほぼ倍増。THPは180%強増加して5億7,600万ポンド、ベイパー製品は26%増の3億2,500万ポンド
 - オーラルタバコの売上が9億5,200万ポンドへと11%強増加
- 調整後営業利益は同一為替レートで**4.0%の増益**。これは、PRRPが成熟化して損益分岐点に達し、採算がとれるようになるまで同カテゴリーの開拓を続ける中、調整後売上の成長と業務効率の一段の改善効果によりPRRPへの大規模投資が相殺されたことを反映。RAI買収後、年間ベースで3億米ドルを超える節減が実現
- 調整後オペレーティングマージンは、PRRPの開発と展開のための投資を良好な価格設定とコスト管理により相殺した結果、**実勢為替レートで0.4ポイント改善して42.6%に拡大**。
- 営業キャッシュ・コンバージョン比率は113%（2017年は79%）。包括的和解契約（MSA）に基づく和解金支払い時期が2017年度に前倒しされたことから、調整後のキャッシュ・コンバージョン比率は100%（2017年は97%）となり、新カテゴリーに投資する一方で高水準のキャッシュ・ジェネレーションを維持していることを示唆
- 調整後純負債³の調整後EBITDAに対する割合は4.0倍（2017年の5.3倍から低下）であるが、同一為替レートでは3.6倍。こうした純負債比率の低下は当社の債務返済への取り組みを反映
- 一株当たり利益は86%減少。2017年にはRAI買収に関連した233億ポンドの一時的な利益と米国の税改正に伴う96億ポンドの繰延税資産（いずれも2018年度には生じていない）により利益が押し上げられたため、希薄化後EPSは86%減少
- 調整後希薄化EPSは同一為替レートで**11.8%上昇**。営業利益の伸びと実効税率の低下（主として2017年の米国連邦税制改革を反映）がRAI買収を受けた借入金の増加とPRRPへの投資拡大に伴う正味金融コストの増加を相殺
- 一株当たり配当金は**4.0%増の203.0ペンス**、四半期毎に一株当たり50.75ペンスを支払い

ケベックの集団訴訟に関連して当社子会社のインペリアル・タバコ・カナダ（ITCAN）およびその他の企業に対して2015年に下された156億カナダドル（およそ90億ポンド）の賠償金



BRITISH AMERICAN
TOBACCO

news release

www.bat.com

(ITCAN の負担分は 104 億カナダドル、およそ 60 億ポンド) の裁定に関するケベック州控訴裁判所の決定が 2019 年 3 月 1 日に発表される予定です。詳細については、英語版暫定決算報告書 19 頁および 42 頁をご参照ください。

1. 独立した小売調査機関（ニールセンを含む）による出荷高のシェア予想、最新の有効データを基とする米国事業の小売シェアおよび主要市場における取引量のシェア
2. 主要市場はグループ全体の紙巻きたばこ販売数量の 80%強を占める
3. グループの借入金返済能力を評価するために、調整後純負債の調整後 EBITDA に対する割合を算出している。調整後純負債とは、取得原価配分調整による影響（2018 年度は 9 億 4,400 万ポンド、2017 年度は 9 億 4,700 万ポンド）を純負債から除外したもの。

*出所：BAT による推定値